編 集 後 記

夢と現の中で

旧年は，国内的には，2020年東京オリンピックの開催決定，新幹線開通50周年，あるいは東京・名古屋間のリニアモーターカーの路線着工などの一見お目出度そうな話の裏で，消費税導入による景気の低迷がアベノミクスの根幹を揺るがしていることが明らかになった．そして，普通に結婚して普通の生活を送りたいと望んでいるが，それさえ叶わない若年層の声は届かない年末の選挙であった．

他方，世界に目を向けると，イスラム国に象徴される原理主義の横暴，あるいはロシア・中国によるファッショ的な国内事情を背景とする領土拡張主義の傾向に加え，年末には原油価格の暴落に伴う世界経済への影響など，ひょっとすると2014年は世界史的な転換となる年となるかもしれない．エゴとドグマに満ちた，いかにも人間的な世界状況のなかで，Ebola出血熱に対する戦いは，計算された戦いとはいえ，我々の未来にかすかな希望を抱かせた．そこには困った人に手を差し伸べようとする人類本来の共感の姿＝人類進化の原点を見ることができたからだと思う．

他方，地球温暖化・企業活動の平坦化・人口爆発により地球環境のtipping pointはすでに超えてしまった（グリーン革命，フリードマン）．地球環境が人類だけの独占物でないことが明らかであるにもかかわらず，医療への研究開発への投資は限りなく行われ，比較して環境への投資はきわめて少ない．このような歪んだ地球環境のなかでSOL（sanctity of living）という理念だけで生きていけるのであろうか．

翻って，2013年導入患者は75～80歳が最も多い．この傾向は団塊世代が80歳となる2030年前後まで続くと考える．導入時年齢の高齢化を考えるとき，腎不全すなわち透析はあまりに短絡的ではなかろうか．「QOLが著しく低下し，何らかの治療が，患者本人の尊厳を損なったり苦痛を増大させたりする可能性があるときには，治療の差し控えや治療からの撤退も選択肢として考慮する必要がある．」（日本老年医学会「立場表明2012」）．きわめて当たり前である．

医療の対象になりえない透析患者の尊厳をいかに保つのか大きな問題である．この問題解決に透析医療だから可能なこと，すなわち導入時における透析に対する同意書および事前指示書の取得が少なからず役立つことを期待したい．そこから得られた知見は医療全体に大きく貢献すると考える．そのような状況の中，今回も期を得た示唆に富むpaperを頂き，実り多い透析医会会誌となりました．

広報委員　岩 元 則 幸

訂正のお知らせ

『日本透析医会雑誌』28巻1号（2013年）掲載の冨岡敏一，大薗英一，坂元仁，他「血液透析システムにおける透析液品質の維持向上に関する細菌学的研究（A）透析液中に棲息する菌の生理学的群集解析」185頁「表5　供試菌同定結果」，186頁「表7　文献調査結果」，187頁「表8　供試菌の文献情報（性状）」，188頁「表9　供試菌の文献情報（資化性）」におきまして，A4とA5の菌名が入れ替わっておりました．訂正いたします．

誤：（A4）*Pelomonas saccharophila*　*Pseudomonas saccharophila*
　　（A5）*Sphingomonas koreensis*
正：（A4）*Sphingomonas koreensis*
　　（A5）*Pelomonas saccharophila*　*Pseudomonas saccharophila*

『日本透析医会雑誌』29巻2号（2014年）掲載の冨岡敏一，大薗英一，坂元仁，他「血液透析システムにおける透析液品質の維持向上に関する細菌叢の生態学的研究（A）透析液中に棲息する菌の増殖温度依存性および付着に及ぼす基材の影響解析」の294頁「表2　単離菌観察結果」におきまして，A4とA5の菌名が入れ替わっておりました．訂正いたします．

誤：（A4）*Pelomonas saccharophila*
　　（A5）*Sphingomonas koreensis*
正：（A4）*Sphingomonas koreensis*
　　（A5）*Pelomonas saccharophila*